2021年6月16日

札幌ミュージック＆ダンス・放送専門学校
札幌デザイン＆テクノロジー専門学校

学内イベント時における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

札札幌ミュージック＆ダンス・放送専門学校、札幌デザイン＆テクノロジー専門学校では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止をしながら第十回学園祭「ONLINE FESTIVAL2021 Get a LIVE!」の実施に取り組んでいきます。今後も以下のガイドラインをもとに取り組みを継続していきます。身体的距離の確保など、十分な感染対策を講じたうえで段階的に実施方法を見直していきます。

【原則】
〇インターネットを活用し、無観客で開催する。
〇イベント時も、密閉・密集・密接の「3密」の状態を避ける取り組みをし、学生・講師・スタッフ間の距離に十分配慮する。

【環境・設備について】
〇イベントを実施するスペースでは常時換気を行う。
〇マイク等の共有備品を複数人が使用する際、必ず毎回消毒を行う。
〇スタジオ、更衣室、控え室などの共有部分の消毒を毎日行う。
〇学内イベントに関わる学生･講師ともマスクまたはフェイスシールドを着用して感染拡大防止に努める。
イベント本番時に出演者に対して、学校が許可した場合にはその限りではないが、本番直前まではマスクまたはフェイスシールドの着用を義務化する。
出演者に対してマスク・フェイスシールドの着用を義務化しない場合とは、下記の事項が確認される場合に限る。
・イベント会場が常時換気できる環境にある。
・イベント当日から過去1週間、イベント関係者全員の体調に問題がない。
・イベント本番時に出演者同士が1m以内に対面で15分以上接触をする状態にない。
・7Fライブスペースのステージ上の出演人数は10名までとする。
・7Fライブスペースの客席エリアをパフォーマンスエリアとする場合、客席エリアの出演人数は15名までとする。

・503/4 教室における出演人数は 20 人までとする。

【イベント関係者の健康管理】
〇イベントに関わる関係者・出演者の名簿を作成し、名前、住所、連絡先、過去 1 週間の体温や体調の状態を管理する。
〇学生の体温を毎日管理し、過去 1 週間以内に 37.5 度以上の熱、もしくは新型コロナウイルス感染症を疑わせる症状（発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身のだるさ、下痢、味覚・嗅覚異常など）があった場合にはイベントへの参加・出演を見送る。
〇イベント最中に体調を崩した出演者およびスタッフは、イベントへの参加を即刻中止し、受診等の必要な対応を行う。
〇イベントに関わった者の健康状態をイベント終了後 1 週間管理する。

【「新しい生活様式」をふまえた共通の取り組み】
〇職員、スタッフなどは出勤前に検温を徹底し、発熱や体調に異常がある場合は出勤しない。外部の出演者、イベント会場先などについても、体調不良の場合は直接の参加を見合わせる。また、以下の場合も同様とする。
・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者の濃厚接触者とされた場合
・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
〇出勤が不可欠ではない業務は在宅勤務を原則とするほか、時差通勤やオンライン会議を積極的に取り入れ、仮に感染者が出た場合でも、濃厚接触者を最小限にする持続安定的な業務体制づくりに取り組む。
〇すべての業務の現場でマスクの着用や手洗い、手指の消毒を徹底し、十分な身体的距離を取り、「3 密」を避ける対策を継続する。
〇今後の授業・学校生活については、引き続き感染防止を最優先し十分な感染対策を講じることを前提に、地域（北海道や札幌市）の感染状況などをふまえてその都度検討していく。
※このガイドラインで述べている「身体的距離」については、「新しい生活様式」をふまえ、できるだけ 2m を目安に(最低 1m)確保するよう努める。

以上